

「地域を特徴づける生態系」に 関する既往調査の実施状況

平成27年2月

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所

これまでの「地域を特徴づける生態系の保全」に係る環境調査の実施項目
(平成16年福井豪雨以降)

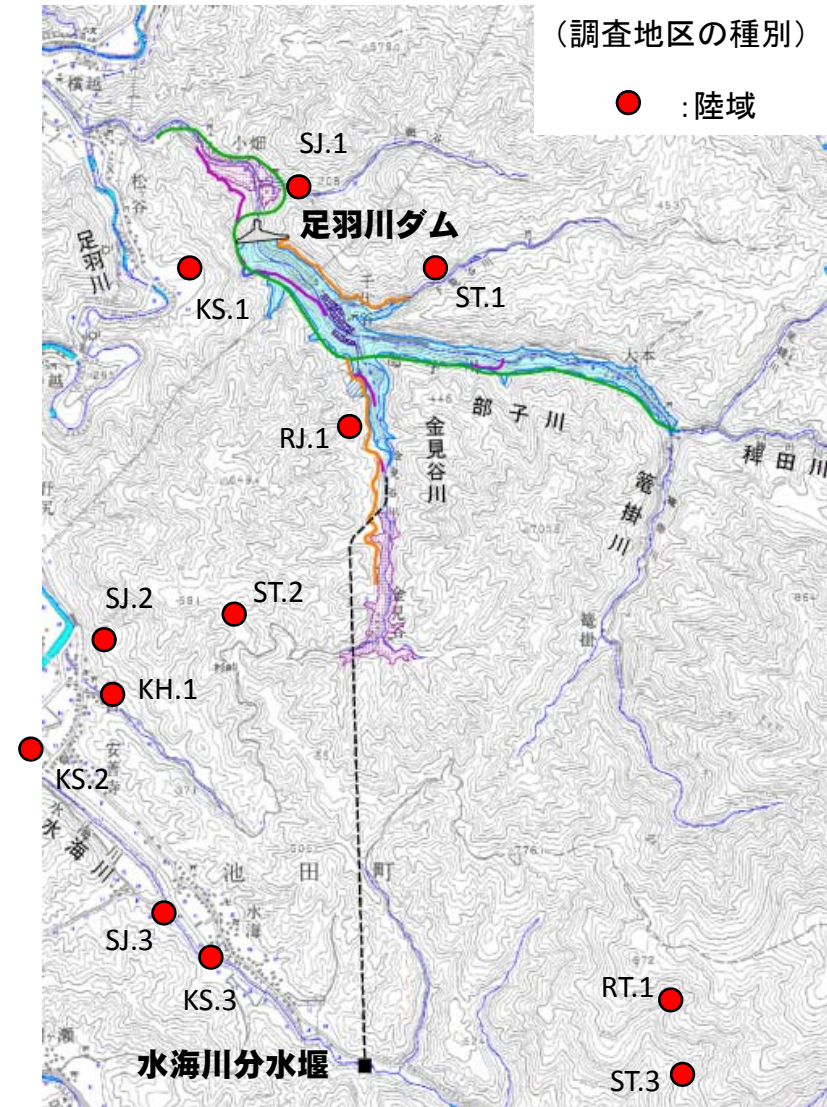
調査項目		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
河川水辺の 国勢調査項目	環境基図作成(群落組成・植生断面図を含む)		○	○					○	
	植物	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鳥類	○	○	○						
	両生類・爬虫類・哺乳類	○	○	○			○			
	陸上昆虫類等(クモ類を含む)	○	○	○	○					
	魚類	○	○	○			○			
	底生動物	○	○	○						
その他の調査項目	猛禽類	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陸産貝類	○		○						
	付着藻類	○	○	○						
	蘚苔類			○						
	大型菌類			○						
	河床構成材料		○		○		○			

これまでの「地域を特徴づける生態系の保全」に係る環境調査の実施内容
(平成16年福井豪雨以降、準備書作成時まで)

調査項目		哺乳類	鳥類	両生類爬虫類	魚類	陸上昆虫類	クモ類	底生動物	陸産貝類	陸上植物	蘚苔類	付着藻類	大型菌類	基図作成	植生
平成17年	相調査(建設発生土処分場及び付替え道路の工事計画変更に伴う)	○	○	○		○			○	○				○	
	重要な種の補足調査		○			○			○	○					
	福井豪雨後調査				○			○				○			○
平成18年	相調査(建設発生土処分場及び付替え道路の工事計画変更に伴う)	○	○	○	○	○		○		○		○		○	
	重要な種の補足調査	○	○	○	○	○		○		○		○			
	福井豪雨後調査				○			○				○			
	陸域典型性調査	○	○			○								○	○
	河川典型性調査		○		○			○				○		○	○
平成19年	重要な種の補足調査	○		○		○			○	○			○		
	福井豪雨後調査				○			○				○			
	陸域典型性調査	○				○									
	相調査						○				○		○		
	地下水に係る動植物調査	○		○	○			○	○	○	○	○			
	河岸植生調査		○												○
平成20年	重要な種の補足調査					○		○		○					
	福井豪雨後調査				○			○				○			
	地下水に係る動植物調査									○					
	相調査(工事計画変更に伴う)													○	

○ 準備書作成時の生態系(典型性[陸域])調査内容(H18)

項目	既往調査の内容		
調査する情報	生態系の陸域典型性の環境類型区分の検証データ取得(群落組成、哺乳類、鳥類、陸上昆虫類、陸域環境ベースマップ作成)		
地域・地点	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉広葉樹(若齢林) 1地区 ・落葉広葉樹(低木林) 1地区 ・スギ・ヒノキ植林(若齢林) 3地区 ・スギ・ヒノキ植林(低木林) 3地区 ・耕作地(水田) 3地区 ・耕作地(畑地) 1地区 各地区30×30mのコドラートを設置		
時期・方法	項目	時期	方法
	群落組成	秋季	コドラート法
	哺乳類	夏季・秋季	目撃法、フィールドサイン法、捕獲法
	鳥類	繁殖期・越冬期	定位記録法
	陸上昆虫類	夏季・秋季	ライトトラップ法、ベイトトラップ法
	陸域環境ベースマップ作成	—	空中写真判読



調査位置図

○ 準備書作成時の生態系(典型性[陸域])調査内容(H19)

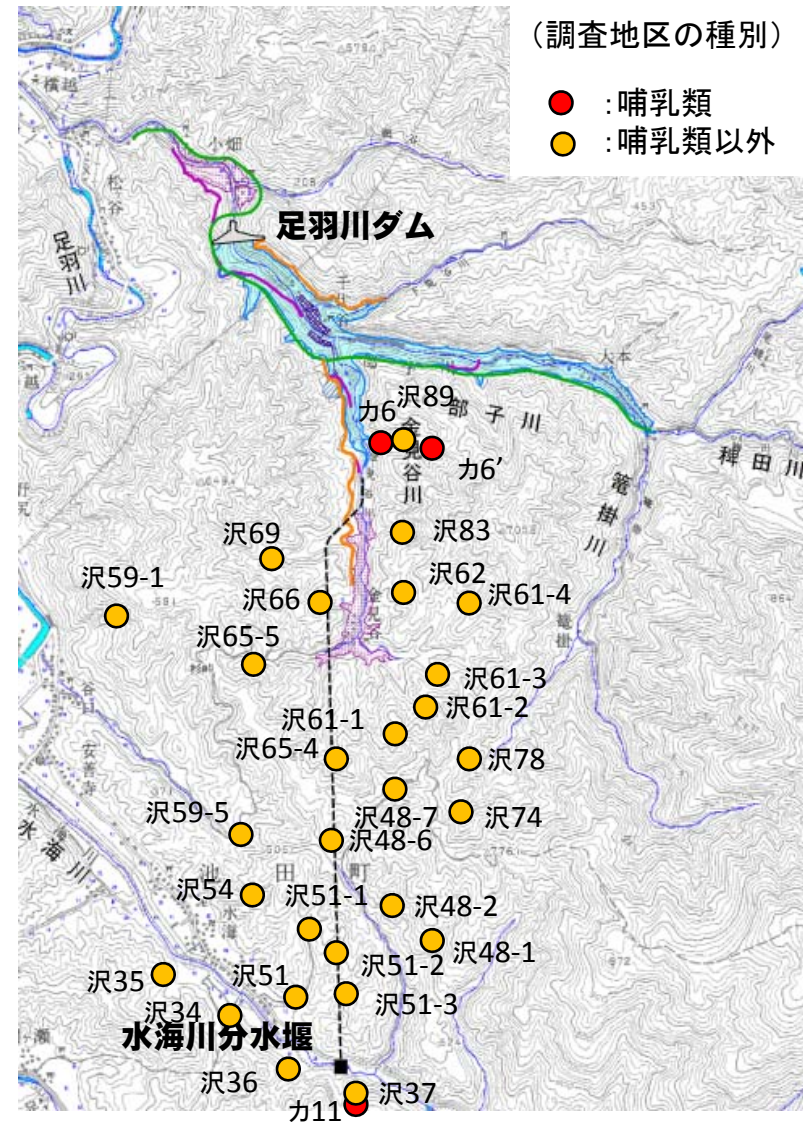
項目	既往調査の内容		
調査する情報	湛水による植生環境の変化状況の把握のための初期データの取得(河岸植生)		
地域・地点	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム洪水調節地(陸域) 8地区 ・建設発生土処理場 1地区 		
時期・方法	項目	時期	方法
	河岸植生	秋季	横断測量、ベルトトランセクト調査、コドラート法



調査位置図

○ 準備書作成時の生態系(典型性[陸域])調査内容(H19,20)

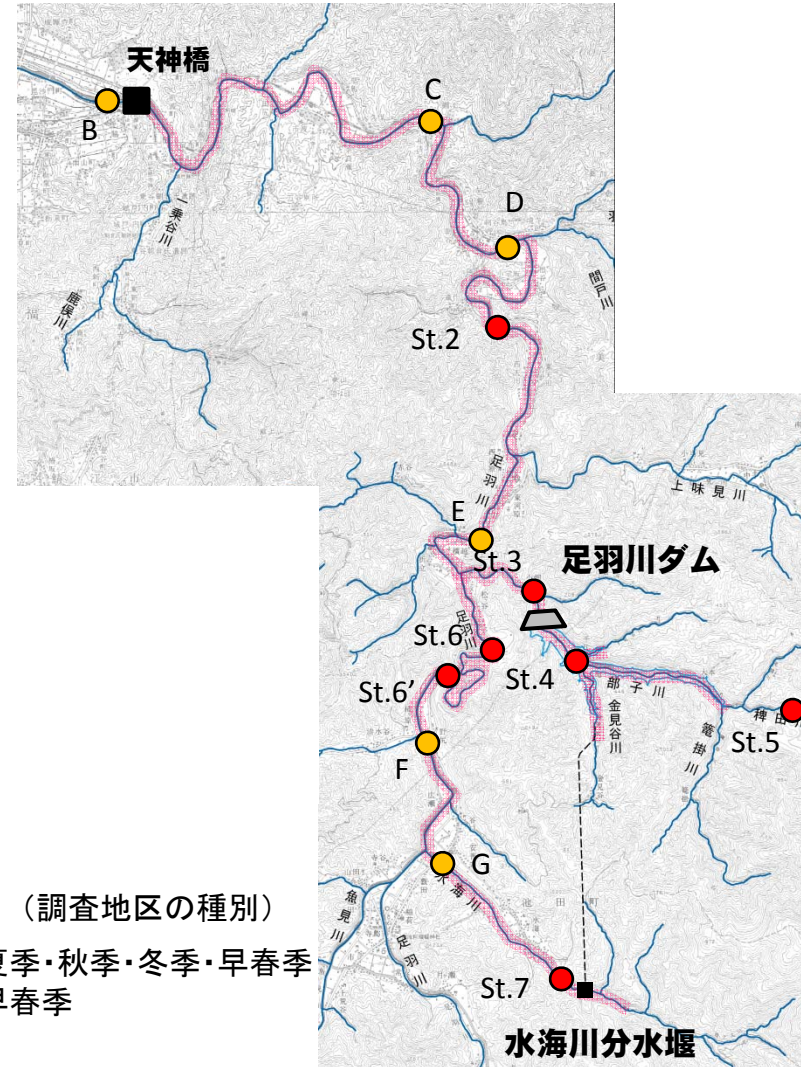
項目	既往調査の内容		
調査する情報	地下導水路工事に伴う地下水位や沢の流量の低下の影響を評価するための生物の生息生育状況の把握(哺乳類、両生類、陸産貝類、植物)		
地域・地点	・導水トンネル周辺の沢 28地区		
時期・方法	項目	時期	方法
	哺乳類	秋季	トラップ法
	両生類	秋季	捕獲
	陸産貝類	秋季	見つけ採り、目撃、シフティング
	植物	秋季・早春季	踏査



調査位置図

○ 準備書作成時の(典型性[河川域])調査内容(H17)

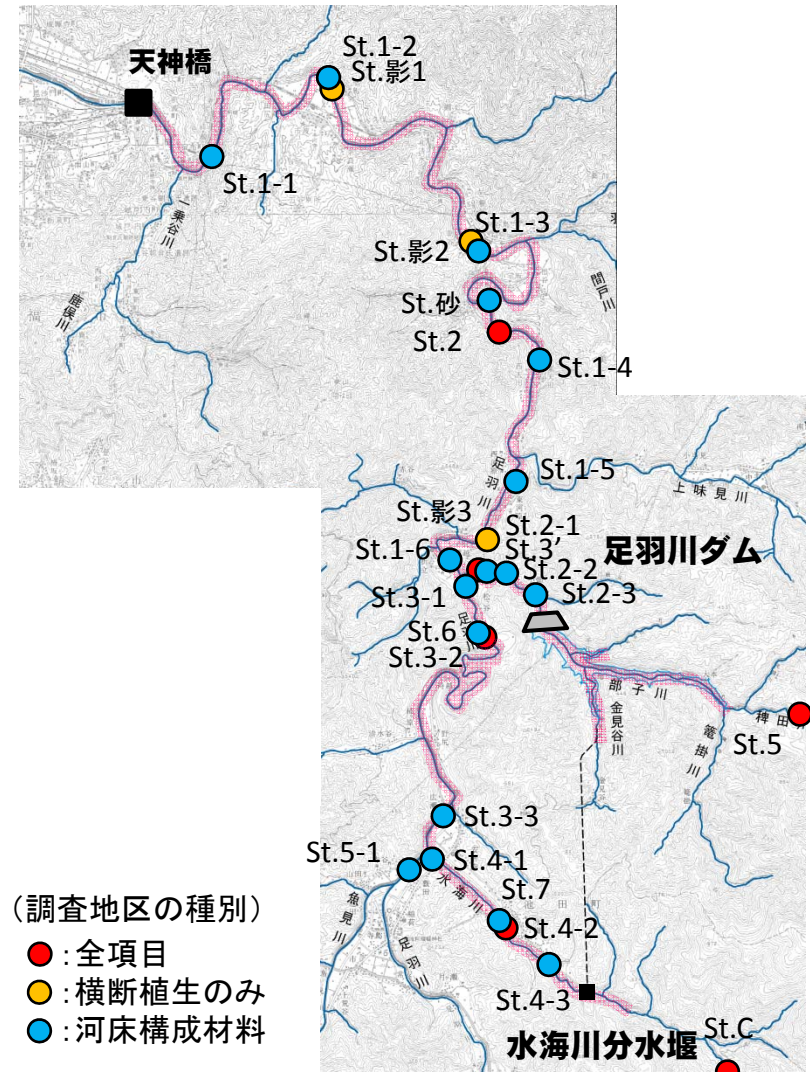
項目	既往調査の内容		
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年7月の福井豪雨後の魚類・底生動物・河畔植生・付着藻類の生息生育状況の把握 災害復旧工事による人為的な影響からの回復状況の把握(早春季) 		
地域・地点	<ul style="list-style-type: none"> ダム洪水調節地(河川域) 1地区 ダム下流河川 6地区 ダム上流河川 1地区 分水堰下流河川 5地区 		
時期・方法	項目	時期	方法
	河畔植生	秋季	踏査、植生図作成
	魚類	夏季・秋季	捕獲、目視
	底生動物	夏季・冬季・早春季	定量採集、定性採集
	付着藻類	夏季・秋季・冬季	定量採集



調査位置図

○ 準備書作成時の(典型性[河川域])調査内容(H18)

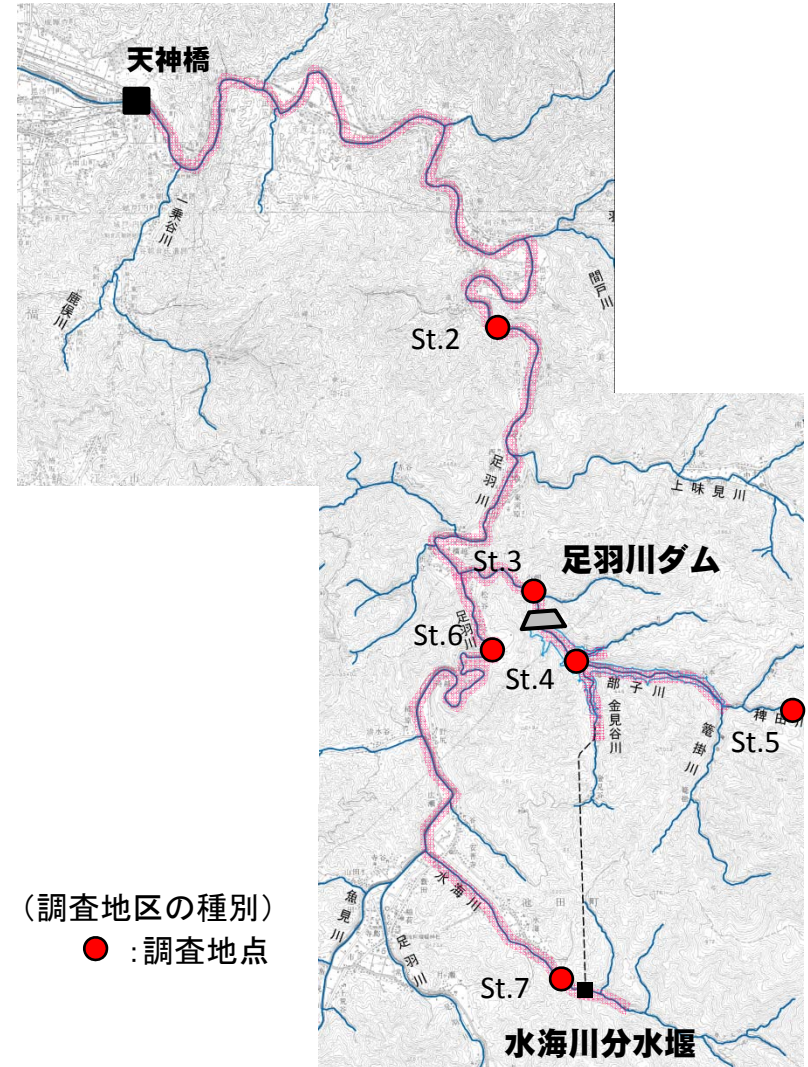
項目	既往調査の内容		
調査する情報	生態系の河川域典型性の環境類型区分の検証データ取得(横断植生、鳥類、魚類、底生動物、付着藻類、河川環境ベースマップ作成)		
地域・地点	・ダム上流河川 ・ダム下流河川 ・分水堰下流河川	2地区 5地区 2地区	
時期・方法	項目	時期	方法
	横断植生	秋季	ベルトトランセクト調査
	鳥類	繁殖期・越冬期	ラインセンサス法
	魚類	春季・夏季・秋季	捕獲
	底生動物	夏季・冬季・早春季	定量採集
	付着藻類	春季・夏季・秋季・冬季	定量採集
	河川環境ベースマップ	秋季	踏査
	河床構成材料	秋季	粒度組成



調査位置図

○ 準備書作成時の(典型性[河川域])調査内容(H18,H19,H20)

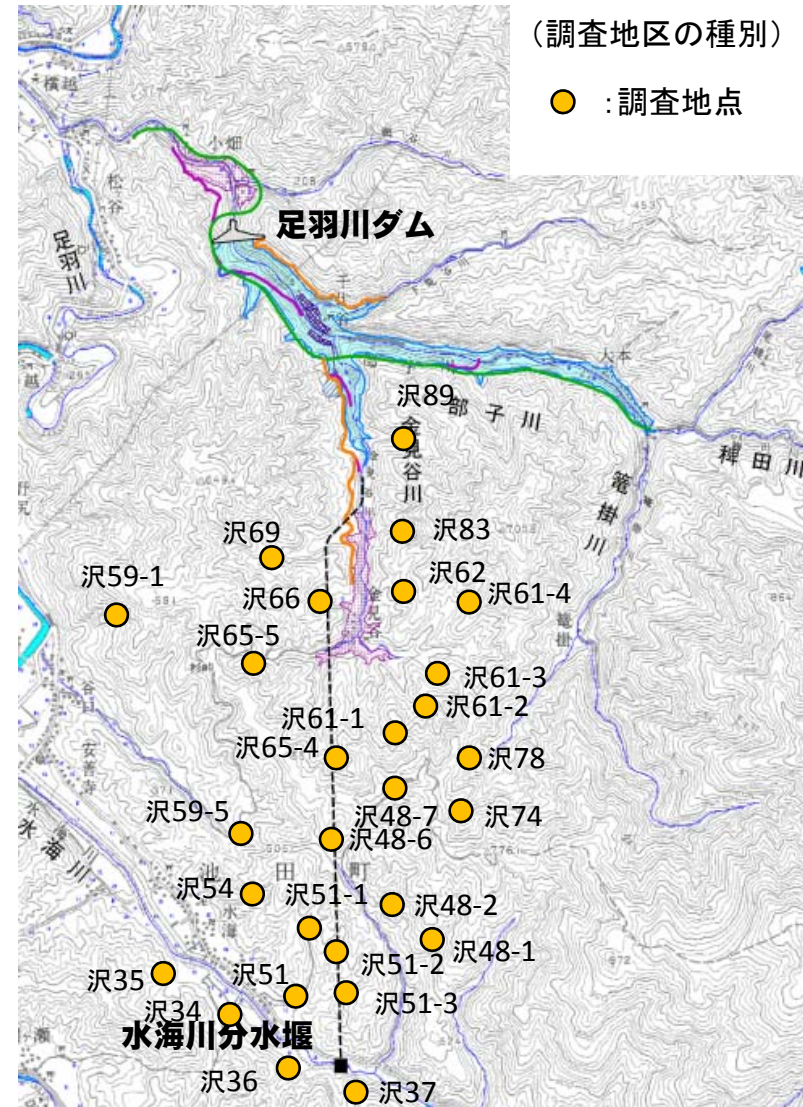
項目	既往調査の内容		
調査目的	平成16年7月の福井豪雨後の魚類・底生動物・付着藻類の生息生育状況の把握		
地域・地点	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム洪水調節地(河川域) 1地区 ・ダム下流河川 2地区 ・ダム上流河川 1地区 ・分水堰下流河川 2地区 		
時期・方法	項目	時期	方法
	魚類	夏季・秋季	捕獲、目視
	底生動物	夏季・冬季	定量採集、定性採集
	付着藻類	夏季・秋季・冬季	定量採集



調査位置図

○ 準備書作成時の生態系(典型性[河川域])調査内容(H19)

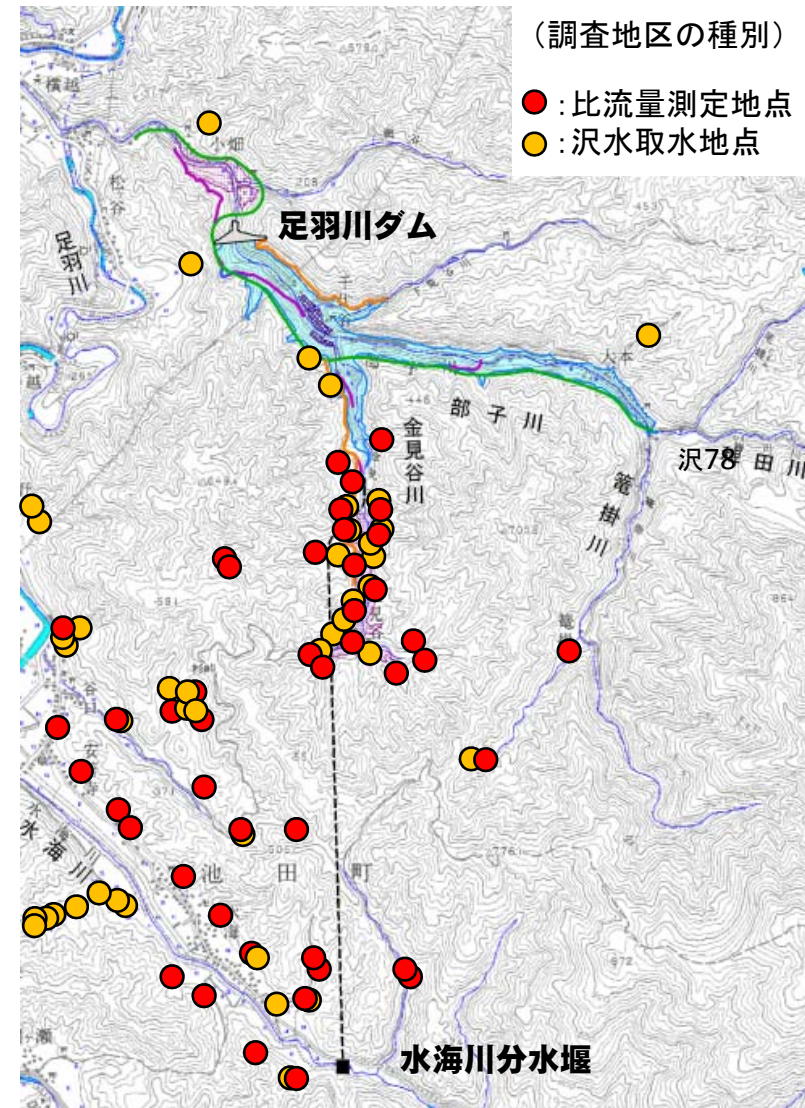
項目	既往調査の内容		
調査する情報	地下導水路工事に伴う地下水位や沢の流量の低下の影響を評価するための生物の生息生育状況の把握(魚類、水生昆虫、付着藻類)		
地域・地点	・導水トンネル周辺の沢 28地区		
時期・方法	項目	時期	方法
	魚類	秋季	捕獲、目撃
	水生昆虫	冬季	定量採集、定性採集
	付着藻類	秋季・冬季	定量採集、定性採集



調査位置図

○ 準備書作成時の生態系(典型性[河川域])調査内容(H20)

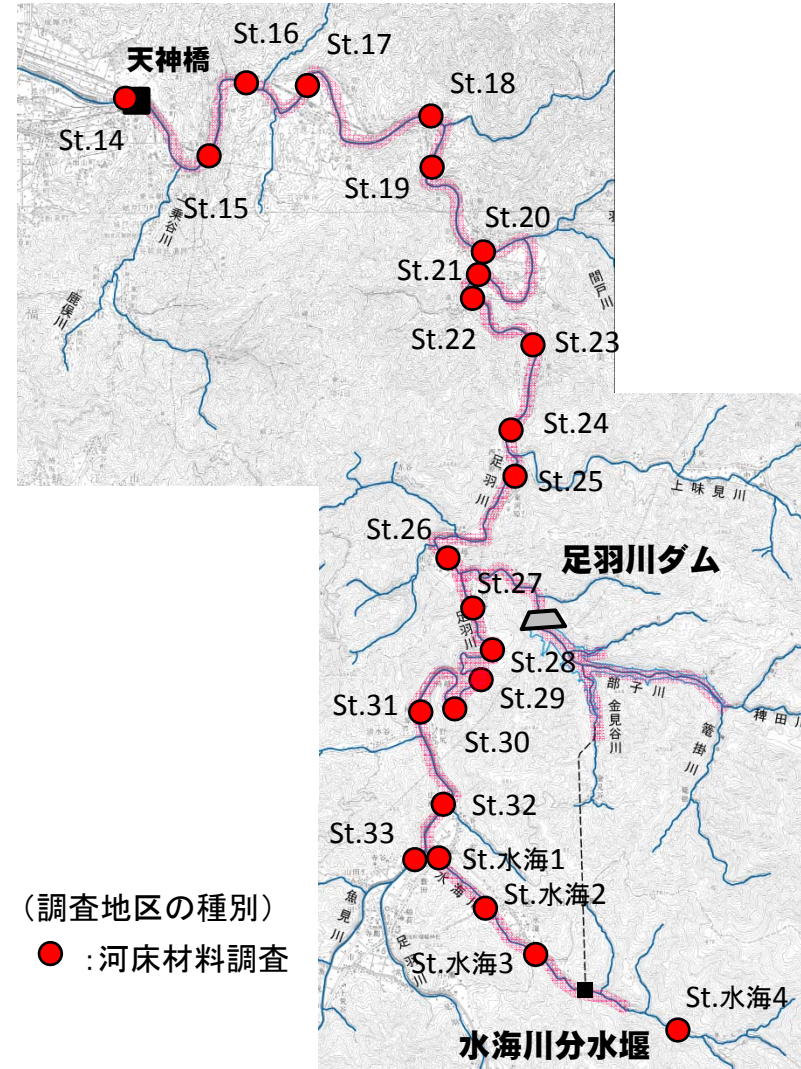
項目	既往調査の内容		
調査する情報	地下導水路工事に伴う地下水位や沢の流量の変化予測に必要な比流量の把握及び生活用水等の沢水取水地点における工事開始前の流量の把握(流量、水質)		
地域・地点	・導水トンネル周辺の沢 比流量測定地点 45地点 沢水取水地点 40地点		
時期・方法	項目	時期	方法
	流量観測	5~6月	断面流速法、容器採水法
	水質	5~6月	多項目水質計による水温、水素イオン濃度、電気伝導度の測定



調査位置図

○ 準備書作成時の(典型性[河川域])調査内容(H22)

項目		既往調査の内容	
調査目的	土砂動態の影響予測のための基礎データ収集		
地域・地点	<ul style="list-style-type: none"> ダム下流河川 ダム上流河川 分水堰下流河川 	13地区 2地区 9地区	
時期・方法	項目	時期	方法
	河床材料	6月	面格子法



調査位置図